



夢咲坂

発行日 令和4年6月22日

高校総体結果報告 ③

男子バスケットボール部

5月28日(土)1回戦が美来工科高校にて行われた。石川高校相手に、80-52で**勝利**した！翌日の2回戦で敗れはしたものの、最後まで戦い抜いた。

大会前の彼等は、静かな闘志を燃やしていた。3年生を中心に自分たちで練習を重ね、地道に努力をしてきた。メンバーのケガで難しいチーム運営が予想される中、この大会に臨んだ。他チームに見られるような、派手さやスーパースターがいるわけではないが、放課後コツコツとチーム力を上げてきた。その成果が実ったのだ。これからも、日々の努力を積み重ねて個々人のスキルをアップするとともに、チームの底上げを期待したい。



女子バスケットボール部

初戦の陽明戦に6名で闘うことになった。ベンチには交代要員がないのだ。非常に厳しいチーム状況にある中、全員で全力を尽くした。試合終了まで走り抜いた。1回戦で敗退したものの、2年生を中心に次に繋げる闘いができた。

女子バスケも新型コロナの影響でなかなかチーム練習ができない状況が続いた。それでも、できる範囲でどうにか大会に臨むことができた。部員不足が懸念されるが、また本校の体育館練習で元気な姿を見せてもらいたい。



SNSトラブル防止講話

6月10日(金)本校体育館にて、1年生を対象に「SNSトラブル防止講話」を実施した。スマホ等端末の使用歴が浅い1年生は、ネット上のトラブルに巻き込まれる可能性が高い傾向にある。そこで、本校では、本部警察署生活刑事課の職員を講師に招き、トラブル防止に関する専門的な立場からの話をして頂いた。担当職員と刑事課長からは本県で実際に高校生が巻き込まれた事件、事故の話があり、生徒らは強い関心を持って聞き入っていた。



金武凌世(3年)全国大会出場

全九州高校体育大会(九州総体)陸上の南九州地区予選大会が沖縄市コザ運動公園陸上競技場にて行われ、最終日(19日)男子3000メートル障害に出場した**金武凌世**が4位に入り、8月に徳島県で開催される全国大会の出場権を得た。また1年生の**島袋翔**が大健闘の8位となった。その他には、5000メートルに出場した**前原颯斗**が7位となったが、惜しくも僅差で全国大会への出場権を得ることはできなかった。

編集後記

「みなさんは知っていますか？2020年5月に、人気リアリティー番組に出場していた女性が22歳という若さで尊い命を失ってしまっていることを……。その原因となったのが、SNS上での書き込みによる誹謗中傷でした。もう一度、自分自身が持つ携帯電話の使用方法について注意し、正しい知識と誰も傷つけないルールとマナーを身につけましょう。」

これは今月本校生活指導部が発行した「生活指導部だより」の一部である。匿名での誹謗中傷に対して、書き込みをした投稿者の特定を容易にして、悪意のある投稿を抑制する方法も確立されつつある。本校でも加害者や被害者にならない生徒の育成に取り組んでいる。「そんなつもりじゃなかった」では通用しない。誹謗中傷は絶対に許されない。これは生徒だけの話ではない。